

平成 22 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



柄澤 昭 秀（からさわ あきひで）

さいたま家庭裁判所医務室

1930 年 4 月 9 日生まれ

【授賞理由】

柄澤氏が行った疫学調査は、認知症高齢者の病状の解明と家族介護の実態を明らかにしただけでなく今日の認知症治療とケアの礎となる疫学調査のモデルとなった。また、永年にわたるケアに関する研究活動は、認知症についての正しい知識・ケアのあり方を社会に浸透させた。その功績に対し、本賞を授与するものである。

【略歴】

1956 年 6 月～1986 年 7 月	東京慈恵会医科大学精神医学教室
1972 年 4 月～1993 年 6 月	東京都老人総合研究所
1993 年 7 月～1997 年 3 月	日本社会事業大学
1997 年 4 月～2007 年 3 月	聖徳大学
1993 年 4 月～	さいたま家庭裁判所

【業績および功績】

1973 年、1980 年および 1987 年の 3 回にわたる東京都の在宅認知症高齢者の調査に携わり、認知症高齢者の出現頻度や病状の解明とともに家族介護の実態を明らかにした。この調査研究は、その後に行われた各自治体における調査のモデルとなった。そして、これらの成果は東京都のみならずわが国の認知症対策の推進に広く利用された。

また、日常生活で観察される行動の変化に着目して認知症のレベルを評価する尺度「柄澤式老人知能の臨床的判定基準」の開発をした。

【褒賞】

東京都知事表彰 1992 年

【著書】

柄澤昭秀：柄澤式「老人知能の臨床的判定基準」（大塚俊男，本間 昭監修）高齢者のための知的機能検査の手引き，ワールドプランニング，東京(1991)。

柄澤昭秀：痴呆のマネージメント。（日野原重明，柄澤昭秀編集）老人医療への新しいアプローチ，医学書院，東京(1992)。

柄澤昭秀：痴呆性老人の QOL を考える。（西村 健編集）老年期の精神障害，ライフ・サイエンス，東京(1993)。

柄澤昭秀：施設における痴呆性老人のケアについて．（柄澤昭秀，七田恵子編集）痴呆性老人の施設ケア／介護マニュアル，医歯薬出版，東京(1994)．

柄澤昭秀：認知症の精神医学．（高齢者保健福祉実務研究会監修）高齢者保健福祉実務事典，第一法規，東京(1996)．

柄澤昭秀：新 老人のぼけの臨床．医学書院，東京(1999)．

柄澤昭秀：改訂精神医学入門．中央法規出版，東京(2006)．

【原著及び総説論文】

- ・臨床的評価による知的老化の研究．精神医学(1975)．
- ・超高齢における精神的老化の臨床的研究．新福尚武教授退職記念論文集(1979)．
- ・知的機能の正常な衰えとその限界．老年医学雑誌(1984)．
- ・東京都における在宅ぼけ老人の精神疫学的研究．精神神経学雑誌(1984)．
- ・健常老人の知的機能衰退について．神経研究の進歩(1985)．
- ・老年期精神障害のケアとリハビリテーション．老年精神医学雑誌(1985)．
- ・痴呆患者との接し方．ブレインナーシング(1986)．
- ・施設老人の心身機能と生活適応．老年社会科学(1987)．
- ・痴呆患者に対する精神科外来診療の役割．精神科治療学(1988)．
- ・わが国における精神科老人医療の現状と課題．精神科治療学(1992)．
- ・痴呆の危険因子としての性格特性．老年精神医学雑誌(1993)．
- ・痴呆性老人の権利の保護とその問題点．精神医学(1993)．
- ・老人虐待をめぐって．保健婦雑誌(1995)．
- ・若年／初老期痴呆の現状と社会的支援対策の問題点．老年精神医学雑誌(1997)．
- ・介護保険法と精神科医の役割．精神神経学雑誌(2001)．

【講演等】

日米高齢化シンポジウム：処遇困難な痴呆性老人に対する効果的ケア(1996)．

第1回静岡健康長寿フォーラム：痴呆性老人に対する効果的ケアと社会的支援(1996)．